

防災力をお互いに高め合う

徳島県石井町と災害時相互応援協定を締結

町は10月8日、徳島県石井町と災害時相互応援協定を結びました。

同町からは、平成28年熊本地震直後から継続的に支援をしていただいております。今回の協定締結となりました。今後、どちらかの町で災害が発生した場合、もう一方から、応急復旧に必要な物資の提供や職員の派遣が迅速に行われます。

今後も情報交換や人事交流を継続し、両町の防災力向上につなげていきます。



協定締結を記念し、握手を交わす小林智仁石井町長と西村町長



宮大工の手で立てられる今年作られた柱。右に見えるのが神殿から取り出した柱

新旧2つの柱が紡ぐ思い

木山神宮立柱祭

木山神宮で10月17日、立柱祭が行われました。

立柱祭は、神殿の建築を始める際に柱を立てる儀式で、熊本地震で全壊となった神殿の復旧を進める同神宮が、1752年の神殿建立以来268年ぶりに行ったものです。

神楽と獅子舞の奉納などが行われた後、新旧織り交ぜて前に進んでいくという思いを込めて、新しく作られた柱と同神宮から取り出した柱の2本が立てられました。

同神宮の矢田幸貴禰宜は、「皆さんの協力でここまで進みました。今後とも一步一步進めたい」と話しました。

復興に向けた活動が評価されました

2団体が自治体学会賞の1つ「田村明まちづくり賞」受賞

交流情報センターミナテラスで10月17日、第10回自治体学会賞田村明まちづくり賞表彰式が行われました。

式では、熊本地震からの町の復興に貢献した2団体が、地方自治に貢献した団体などに贈られる同賞を受賞。



受賞に際し、行政と町民の橋渡し役を担った「熊本大学ましきラボ」柿本竜治教授は、「町民主体のまちづくりの手伝いを続けたい」と、避難所自主運営に貢献した「益城だいすきプロジェクト・きままに」吉村静代表は、「若い人もまちづくりに関わってほしい」と話しました。



賞状を掲げる柿本教授(左から2人目)と吉村代表(同3人目)

Pickup Plus+
 今月のプラス



町の米を原料にした焼酎「 (こめます)」が、全日本国際酒類振興会(東京都)主催の2020年春季全国酒類コンクール本格焼酎(米焼酎)部門で第1位特賞を受賞しました。10月15日、製造している(株)堤酒造(あさぎり町)の堤有史副社長が役場仮設庁舎を訪れ、西村町長に「町と共に作った が評価されて良かった」と受賞を報告しました。